

アフターコロナの 大学図書館

電子図書館と デジタルアーカイブ

① 電子書籍・電子図書館の現状と課題
専修大学文学部教授 植村 八潮 氏

② デジタル化の歴史から、その機能の変遷をたどる
出版流通史研究者 牛口 順二 氏

2023年6月9日（金）
13:30～16:30

オンライン・オンデマンド形式併用
録画映像公開期間

2023年6月16日（金）～7月31日（月）
※視聴用URLは別途お知らせします



参加のお申込みはこちら
<https://forms.gle/Gxm2YUTucJgJg5pLA>

私立大学図書館協会東地区部会 研究部担当理事校
専修大学（飯泉・野村）eastlib@acc.senshu-u.ac.jp

アフターコロナの 大学図書館 電子図書館とデジタルアーカイブ

6月9日（金）13:30～16:30

録画映像公開期間 6月16日（金）～7月31日（月） ※オンライン・オンデマンド形式併用

大学図書館のデジタル化と学術情報のデジタル化は密接に関連する課題であり、我が国全体で、多様な学術情報資源の共有等により、大学図書館が相互に連携したデジタル・ライブラリーの検討や取り組みが求められています※。本講演を通じて、オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方を考える機会としていただければ幸いです。

※文部科学省「コロナ新時代に向けた今後の学術研究及び情報科学技術の振興方策について（提言）」（令和2年9月30日）
「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議まとめ）」（令和5年1月25日）

1. 開会の辞 13:30

司会者 研究部担当理事校 専修大学図書館 野村 彩衣

2. 挨拶 13:35

研究部担当理事校 専修大学図書館長 廣瀬 玲子

3. 講演 13:40 ※テーマは当日までの調整により若干変更になる可能性があります

①電子書籍・電子図書館の現状と課題

専修大学文学部教授 植村 八潮 氏

納本制度審議会会長代理（令和4年度）NPO本の学校理事。東京電機大学出版局勤務、同局長を経て、2012年より専修大学文学部教授および出版デジタル機構代表取締役役に就任。2014年6月出版デジタル機構取締役会長を退任し、現在に至る。専門は出版学で日本の電子書籍・電子図書館の研究・普及・国際標準化に長らく携わってきた。最近では、読書バリアフリーに取り組んでいる。

関連著書として

- ・『改訂 図書館のアクセシビリティ：「合理的配慮」の提供へ向けて』（共編著）樹村房 2021年
- ・『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2022：これまでの10年とこれからの10年』（共編著）樹村房 2022年

②デジタル化の歴史から、その機能の変遷をたどる

出版流通史研究者 牛口 順二 氏

1979年に株式会社紀伊國屋書店に入社後、もっぱら大学図書館等が主要な取引先である営業総本部に所属。東京営業本部時代は国立国会図書館を担当。その後、筑波営業所長を経て、1991年以降、本社営業推進本部にて営業システム課長、営業企画部長、営業推進本部長として、社内の業務システムや社外向けの新サービスの開発や普及を担当、電子ジャーナルや電子図書館サービス等の支援も担当。2010年以降は電子書籍ビジネスの立ち上げを担当し、「デジタルネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会（いわゆる経産・総務・文部による3省懇）」に「出版物の利活用の在り方に関するワーキングチーム」メンバーとして参加。その後、関連企業担当として、現在ライブラリエというサービスを提供している日本電子図書館サービス（JDSL）の設立時の役員など勤めたのち、2020年12月に紀伊國屋書店退職。

関連著書として

- ・『ネットワーク社会とニュービジネス』（専修大学経営学部公開講座運営委員会編）アグネ承風社 1998年
- ・『パブリッシング・スタディーズ』（日本出版学会編）印刷学会出版部 2022年
- ・『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2022』（植村八潮・野口武悟・長谷川智信編著）樹村房 2022年

4. 質疑応答 16:00（約30分）